



2024年8月8日

各 位

会 社 名 バルミューダ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 寺 尾 玄  
(コード：6612 東証グロース)  
問 い 合 せ 先 経 理 ・ 財 務 部 長 松 井 卓 也  
(TEL 050-3733-9206)

### 2024年12月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

2024年2月9日に開示した2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の連結業績予想を以下の通り修正します。

#### 1. 2024年12月期連結業績予想の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	13,200	150	150	100	11.85
今回修正予想（B）	12,800	30	75	50	5.91
増 減 額（B-A）	△400	△120	△75	△50	—
増 減 率((B/A)-1)	△3.0	△80.0	△50.0	△50.0	—
(参考) 前期実績 (2023年12月期)	13,011	△1,375	△1,237	△2,071	△245.68

#### 2. 修正の理由

期初に発表した業績予想は、家計消費の外向け需要へのシフトや、物価上昇による実質賃金の減少、前年と同水準の為替相場の継続等、厳しい外部環境を前提としており、そのような環境下、当連結会計年度の黒字転換実現のため、「売上総利益率の改善」「固定費の圧縮」「家電カテゴリー製品の積極的な展開」の諸施策を推進してきました。その結果、当中間連結会計期間の親会社株主に帰属する中間純利益は、半期として2022年12月期中間連結会計期間以来、2年ぶりの黒字となりました。

しかしながら、一時、為替相場がおおよそ37年半ぶりの1ドル161円台という記録的な円安ドル高にまで進行するなど、年初の為替水準からは大きな乖離が生じました。また、外向け需要へのシフトや実質賃金の減少等、当社を取り巻く外部環境は、厳しい状況が続いています。

このような、期初の想定以上に厳しい外部環境に対応するため、製品価格の改定等、追加の収益性改善施策を推進していくことで、業績の下振れリスクに対処していきます。

売上高については、厳しい外部環境が継続している中での価格改定が販売台数に影響する可能性があること等を考慮し、予想を引き下げるものです。

営業利益については、追加施策の効果により売上総利益率を期初予想並みと見込む一方で、売上高予想を引き下げることから、期初想定からの減少を見込みます。

経常利益については、営業利益予想が減少する一方で、為替予約に伴う為替差益の影響を考慮しました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、経常利益予想の変更に連動して見直しました。

2024 年は、「通期での黒字回復」「厳しい環境下でも持続的に成長可能な事業基盤の確立」を実現する年度と位置付けています。期初予想の前提としていた諸施策及び追加施策の効果を着実に創出することで、この2つの目標を達成するべく、引き続き全社一丸となって取り組んでいきます。

以上